

## 能登半島地震募金活動

- 目的： 募金活動を通して、能登半島の現状に目を向け、助け合いの心を養う  
日時： 令和6年2月1日（木）～2日（金） 8:00～8:10  
場所： 袋井南中学校昇降口（外）、正面玄関  
提出先： 日本赤十字社 令和6年能登半島地震災害義援金



### 【能登半島地震から1ヶ月】

- 震源の石川県能登地方は最大震度 7 の揺れに見舞われ、甚大な被害が出ました。かつて人々の暮らしや市場のにぎわいがあった場所ですが、今は人の姿も話し声もほとんどなく、火災にあった建物や車、焼け落ちた瓦は現場にそのまま残された状態です。さらに断水。生活への影響が深刻化しています。  
生活再建の見通しが立たず、日常がいまだに戻らない状況を少しでも支えたい・・・私たちができる復興への願いです。

### 【能登半島地震募金活動に参加した生徒・教職員の感想】

- ・能登半島の人たちに1日、1分、1秒でも早く復興することができるように思いを込めて募金しました。 (1年生)
- ・能登半島の地震が起こった後、自分たちも復興の手助けができて少しでも早く復興できたらいいと思ったので協力しました。 (1年生)
- ・少しでも被災地復興の役に立つことをしたいと思って募金しました。1日でも早く被災地の方々に安心や安全が戻ってくることを祈ります。 (2年生)
- ・1日でも早く被災されたみなさんが普通の生活に戻ってほしいと願って募金しました。私たちができることは小さいかもしれませんが、その輪を広げたいです。 (3年生)
- ・「復興支援に向けて何ができるだろう？」と考えたとき、自分にもできることをまず、やりたいと思ったので募金しました。被災されたみなさんに元気を届けたいです。 (3年生)
- ・復興支援に役立ててもらいたいと思って募金活動に参加しました。地震で被災された方々が1日でも早く、より良い生活が送れることを願っています。 (教職員)
- ・袋井市でも震度4を計測した今回の地震、あらためて恐ろしいと感じました。私たち以上に石川県のみなさんは恐ろしい思いをしたのだと考えると、何か協力したいと強く思いました。募金活動の輪がこれからも広がっていくことを願わずにはられません。 (教職員)

### 【令和6年1月能登半島地震災害義援金贈呈式】

日時： 令和6年2月7日（水）16:00～16:30

場所： 袋井市役所

参加者： 生徒会長 半田思枝さん  
副会長 西野伊織さん・山崎結稀さん  
生徒会顧問 松田  
市民生活部長 大庭英男様  
同しあわせ推進課長 金原佳紀様



義援金贈呈金額：117,373円

能登半島地震から1ヶ月が過ぎた今でも、被災した方々が不自由な生活を強いられているニュースを目にします。まだライフラインが整備されていない情報を見て、私たちにも何かできることはないかと思ひ、募金活動を行いました。

募金活動に協力してくださった生徒のみなさん、先生方、保護者の方々、ありがとうございました。少しでも被災した方々の助けになれば嬉しいです。

\*生徒会代表 半田思枝\*



